

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」学園だより

とう oun
稲雲

第 1 3 号



令和4年11月18日発行

発行者：校長 小貴 崇明

○**稲田学園の松明が完全燃焼！～伝統と歴史がつながる炎～**



◎ 3年ぶりに多くの大松明が並び本格開催となった松明あかしが、11月12日（土）翠ヶ丘公園五老山で開催されました。この日を迎えるまで9年生を中心に、松明づくり協力会やPTA、保護者の方々の支援をいただきながら準備を進めてきましたが、ついに稲田学園の大松明に火が着きました。



その姿はまさに勇壮で、立派に美しく燃え上がっていました。参加した生徒も自分たちが制作した松明が美しく燃え上がる姿を見て大変誇らしげな様子でした。制限のためエリアには入れずに一般観覧としてたくさんの生徒や保護者の方にも来場していただきました。松明作製が出来なかった卒業生たちも来ていたようです。ご協力いただいたすべての皆様に感謝いたします。

◎ 松明あかし前日の11日（金）は全校児童生徒、協力会、保護者の方々が見守る中、3年ぶりに松明出発式が行われました。松明あかし当日は入場者制限があり、9年生全員での参加が叶わず、この出発式が歴史を引き継いでいく大切な儀式となりました。母校を想い、仲間を想い、感謝の気持ちで臨む真剣な応援の姿は、大変感動的でした。式後、五老山に松明を設置した際には、松明に子どもたち直筆のサインも貼り付けました。



○管楽合奏コン全国大会で特別賞受賞！

11月13日（日）、稲田学園音楽部は日本管楽合奏コンテスト全国大会（中学校S部門）に出場しました。会場の東京都文京区・尚美バリオホールには北海道から鹿児島県まで全国から予選を通過した小規模編成の学校が揃い、それぞれの編成の特徴を生かしながらレベルの高い演奏を聴かせていました。この最高の舞台上で稲田学園音楽部は、「斑鳩の空」を熱く雅やかに演奏し、会場から大きな拍手をいただきました。審査の結果、優秀賞とブレイク賞という特別賞をいただきました。また、顧問の会田教諭には指揮者賞も贈られました。稲田学園の歴史に残るすばらしい受賞でした。

（写真は、受賞式後にいただいた大きなトロフィーをかかえて喜ぶ9年生3人）

※千葉県で行われるソロ&アンサンブルコンテスト全国大会の結果等は次号でお伝えします。



○後期役員任命式～新リーダーのもとさらなる進化を～



11月1日（火）、後期児童生徒会役員と学級役員の任命式を実施しました。呼名に対する返事の声は大きく、任命状を受け取る姿勢はどの役員も立派でした。令和4年度後期にも児童生徒会の活動や行事がたくさんあります。それらの活動においてリーダーとして、学校や学級を引っ張ってほしいと思います。そして、稲田学園をさらに発展させる原動力となってください。期待しています！

○子育て講座～新1年生の保護者の皆さんが交流しました～

10月28日（金）、令和5年度に入学する新1年生の健康診断にあわせて、集まっていたいただいた保護者の方を対象とした子育て講座を開催しました。

インストラクターさんを中心に3つのグループに分かれて、子育ての悩みや入学に向けて不安に思っていることを話し合っていました。笑顔が多く和気あいあいとした雰囲気の中で、保護者の皆様同士の交流が図られました。



★言葉と生きる(13) 「青春の炎 見上げる松明に」

松明あかし前日の松明出発式では、1年生から8年生が見守る中で、9年生が完成した大松明の前で、応援団として一体化し声高らかに精一杯のパフォーマンスを披露してくれました。自分たちが作り上げた立派な松明への誇りと完成した喜び、支援してくださった地域や保護者の皆様への感謝など、様々な思いが伝わってきます。後輩たちが見守る中心で燃えたぎる青春の炎を表現する9年生たちを見て、私は突然号泣してしまいました。一昨年、昨年の9年生たちにもこの感動を味わわせたかったこと、コロナで我慢してきた1～9年生全員が1つになる行事の実現など、いろいろな思いが涙となってあふれ出てしまいました。

そして、松明あかし当日。どこよりもきれいに燃え上がる稲田学園の大松明を見ながら、やっぱり涙が流れた私なのでした。9年生のみんな、感動をありがとう！！